

和歌山県観光情報

紀州浪漫

2022 春号 Vol.80
SPRING

わかやま
庭園回遊



紀州三昧

ジオサイトや祭りなど和歌山のおきをご紹介。

【紀州の祭り】



安珍と清姫が現世によみがえる春の会式
4月27日(水)

道成寺会式〈日高川町〉

県最古の寺で毎春行われる鐘供養会式で、安珍清姫の絵巻物語が再現される。清姫の化身である長さ21メートルもの張り子の大蛇が安珍を追いかけるジャンジャカ踊りが見どころで、日高川河川敷から町中を練り歩き、見物客を沸かせる。大蛇は寺の石段を駆け上がり、鐘に巻き付いて安珍ともども焼き尽くすさまは圧巻の一言。

今年の開催については、下記まで問い合わせを。
園道成寺 ☎0738-22-0543

【南紀熊野ジオパーク】



太平洋の絶景が広がる岬で
鯨の町の捕鯨文化にも触れてみる

燈明崎〈太地町〉

熊野層群の砂岩による絶壁が熊野灘に向かって突き出したこの岬は、古式捕鯨の史跡としても知られる。漁の指揮をする山見台や、日本最初の鯨油を使った行灯(あんどん)式灯台が復元されており、合図を送るための狼煙場(のろしば)や休憩を取る支度部屋の跡も見ることができる。周辺の台地は波によって削られて平らになった海岸が、巨大地震による隆起等によって海岸段丘となったものである。

園南紀熊野ジオパークセンター ☎0735-67-7100
園南紀熊野ジオパークガイドの会事務局 ☎0735-67-7730

【プレミア和歌山】



漆工芸とテクノロジーが融合し
現代の暮らしにフィットする器が誕生

漆ガラス食器(黒江JAPAN)〈海南市〉

400年以上の歴史を持つ紀州漆器。生産地の海南市黒江で生まれた「黒江 JAPAN」はガラスの裏面から特殊漆を意匠付けした世界初のガラス漆器で、伝統美を感じさせながら手入れもやすく、毎日の食卓を華やかに彩ってくれる。

園塗り工房ふじい ☎073-483-0323



「プレミア和歌山」は、安心・安全を基本に、“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”視点で審査し、優良な製品を推奨する制度です。



【ほんまもん体験】



高野山の麓で学ぶ
本格体験コースも用意

紙漉き体験〈九度山町〉

弘法大師空海が九度山の地に伝えたといわれる和紙「高野紙」。体験資料館の「紙遊苑」では高野紙の紙漉きを実際に行え、伝統文化や技術を学ぶことができる。入門コースではハガキや色紙等を作成し、2時間で300円から。1日体験コースは高野紙作成の全行程を体験できる本格的な内容で、6時間5,000円(1日3人限定)。両コースとも受け入れ対象は6歳から。完全予約制。

園紙遊苑 ☎0736-54-3484

目次 contents

2022
春 SPRING
号 vol.80

表紙の写真
満開の桜と粉河寺庭園
(紀の川市)
西国三十三所第3番札所の粉河寺。本堂の前には紀州の名石を豪快に配した枯山水の庭園が広がる。桜が華やかに彩る春に訪れたい。

- 2 紀州三昧
【特集】
- 3 わかやま
庭園回遊
- 4 中世の佇まいを残す根來寺
変化に富んだ風趣のある庭園
(三石市)
- 6 粉河寺の本堂を仰ぎ見る
独創的で豪壮な石組みの庭
(紀の川市)
- 8 江戸時代の風雅を味わう
紀州徳川家ゆかりの庭園
(和歌山市)
- 10 天空の聖地・高野山
参詣者をもてなす美しい庭園
(高野町)
- 12 「わかやま歴史物語」ぶらり旅
伝統と文化を守り続ける
醤油の故郷を訪ねて
(金剛町)
- 14 トビックス
- 15 和歌山県イラストマップ
- 16 フォトジェニックなわかやま
花いちばん
(紀美野町)

※本誌に掲載の情報は令和4年1月11日現在のものです。施設・店舗等の営業時間、定休日、料金等が変更される場合があります。また、祭り・イベント等は中止・延期の場合があります。お出かけの際はあらかじめ施設・店舗や主催者等に直接お問い合わせください。

わかやま 庭園回遊

新しい旅行の形として注目されている「ガーデンツアーズム」。個性的な庭園を巡りながら、独自の歴史や文化、食など地域性に触れる旅のスタイルだ。桜が花開くこの季節、うらかな陽光に誘われて「わかやま庭園回遊」に駆けよう。

紀州徳川家ゆかりの庭園や、参詣者をもてなすために造られた高野山の庭の数々。他にも和歌山では、地域の風景や歴史を背景に造られた

様々な庭園に出会うことができる。石や砂を中心に構成される枯山水の庭や、神聖な生き物の姿を表現した芸術作品のような庭、そして自然そのものの力強さを感じさせる庭など、それぞれ異なった趣の景色をゆつくりと見比べるのも楽しいはず。

春の花々に彩られる庭園を愛でながら、句のご当地グルメを堪能するのもおすすめ。さあ、和歌山のガーデンツアーズムを思う存分楽しんで。



根来寺名勝庭園
池や滝を配した江戸時代の池泉式蓬莱庭園。四季折々、変化に富んだ様相を見せる庭園で、春にはツツジやサツキ、カキツバタと多彩な花々が空間を彩る。

中世の佇まいを残す根来寺 変化に富んだ風趣のある庭園

〔岩出市〕

ねごろじ

根来寺は、高野山の学僧であった覚鑿上人によって開創された、新義真言宗の総本山。同寺院には、枯山水と池泉式蓬莱庭園からなる「根来寺庭園」がある。本坊から光明真言殿に向かう渡り廊下に面した部分は、砂紋が美しい枯山水。中ほどに配された3つの紀州青石は、それぞれ大日如来、金剛薩埵(さつた)、尊勝仏頂を象徴している。紀州徳川家の別邸を移築したと

いう名草御殿の北及び西に面する部分は、池泉に鶴や亀に見立てた石を配した、美しい造形の蓬莱庭園。山腹を巧みに利用して造られた、石組の滝から流れる水の音が心地良い。また根来寺周辺には、旧和歌山県議会議事堂や史跡紀伊国分寺跡歴史公園など、貴重な歴史的建造物がそろそろ。庭園の美しい景観に癒やされるとともに、歴史探訪も楽しんで。



旧和歌山県議会議事堂(一乗閣)

明治31年(1898)に和歌山市に建設後、移築を繰り返して、根来寺境内で一乗閣の名で活用されたことも。平成28年(2016)より現在の場所で一般公開。現存する日本最古の木造和風の県議会議事堂として重要文化財に指定。
 阪岩出市根来2347-22 ☎0736-61-1160
 ☎9:00~17:00(最終入館は16:30)
 休火曜 ※祝日除く、12月29日~1月3日 入館無料
 入館無料
<https://www.negororekishinooka.jp/capitol/>



史跡紀伊国分寺跡歴史公園

聖武天皇により全国に建立された国分寺の一つである紀伊国分寺。園内では創建期の七重の塔跡の礎石や保存修理を行った本堂などが見られる。隣接する歴史民俗資料館に寺の100分の1スケールの精密模型を展示。
 紀伊の川市東国分671 ☎0736-77-0090(紀伊の川市歴史民俗資料館) ☎9:00~16:00 休月・火曜、祝日の翌日、12月29日~1月3日 入館無料
 入館無料

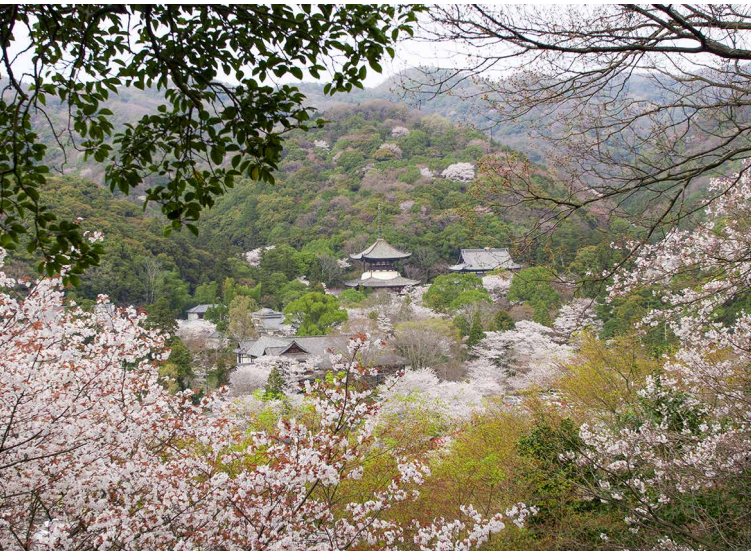


和歌山県植物公園緑花センター

一年を通して様々な植物を鑑賞でき、春は桜やチューリップ、ランタナ、キュラスなどの花見客でにぎわう。希少なヒスイカズラの開花は4月中旬ごろまで。各種展示会や寄せ植え教室も随時開催されている。
 阪岩出市東坂672 ☎0736-62-4029
 ☎9:00~17:00 ※入館は16:30まで
 休火曜 ※祝日の場合翌平日
 入館無料
<http://www.w-botanicalgarden.jp/>



ヒスイカズラ



根來寺の桜

境内では、ソメイヨシノやヤマザクラなど約7000本もの桜が咲き乱れる。周辺の山々にはヤマザクラが咲き、開花時期を迎えれば山全体がピンク色に。「さくら名所100選」にも選出されている。



大塔

天文16年(1547)に建立された真言密教の教義を示す大塔。国内最大の木造多宝塔で、秀吉の紀州攻めから残り、その基部には火縄銃の弾痕を見ることができる。明治時代には国宝に指定されている。



大門

境内の西側に位置する、根來一山の総門。左右に仁王像が配置された、上層には釈迦三尊と十六羅漢像が安置されている。大寺院の正門としてふさわしい、壮大で重厚な二重門だ。

根來寺

覺鑿上人が開いた新義真言宗の総本山。約900年の歴史と伝統を誇る広大な境内は、中世の佇まいを残している。最盛期には一大宗教都市を形成し、ロイス・フロイスの「日本史」にも驚きをもって記録されている。

〒岩出市根来2286 ☎0736-62-1144
 ☎4月1日~10月31日9:15~16:30 11月1日~3月31日9:15~16:00
 拝観料大人(中学生以上)500円、小人無料
 ☎https://www.negoroji.org/



初根工房

和歌山が誇る伝統工芸品の1つである根來塗。根來寺の境内にある工房では、本物の漆を使って、箸やスプーン、椀など日常遣いできる漆器の制作体験を行っている。所要時間は1時間で、1週間前までに要予約。

〒岩出市根来2168 ☎negoronuri1143@gmail.com
 ☎13:00~16:00(最終受け付けは15:00)
 火曜・水曜 根來塗体験スプーン2,500円~、箸3,800円
 ☎https://www.negoronuri.org/



ダルマみくじ500円
 根來寺事務所で販売



初花

根來寺の前にある古民家カフェレストラン。菜の花やタラの芽、タケノコなど春の味覚をちりばめた料理に舌鼓を打ちながら、桜が咲く庭の景色を楽しんで。座敷とテーブル席がある。ランチは11:00~15:00。

〒岩出市根来東谷2185 ☎0736-61-3899
 ☎10:00~17:00(OS16:00) *土日祝は18:00(OS17:00)まで 休無休 初花2,750円



TRATTORIA atmeal(トラットリアアトミール)

契約農家から仕入れたこだわりの野菜をたっぷり使ったイタリアンが自慢。前菜、ドリンク、デザートが付いた生パスタのランチは、トマトソース、クリームソース、オイルベースから好みのものを選ぶ。

〒岩出市根来1723-1 ☎0736-62-6888
 ☎11:00~23:00 *ランチOS14:00、ディナーOS21:30 休日曜 トラットリアランチ1,880円



cafe4.Lab(カフェフォーラボ)

名所巡りで疲れたら、春を感じるスイーツでほっと一息。甘酸っぱいフレッシュな県産イチゴ「まりひめ」とホカホカのパンケーキ、そしてオーナーこだわりのオリジナルブレンドで、午後のコーヒータイムを過ごして。

〒岩出市安上205-1 ☎070-4001-4800
 ☎8:30~18:00 休無休 イチゴパンケーキ660円

こかわでら 粉河寺の本堂を仰ぎ見る 独創的で豪壮な石組みの庭 【紀の川市】

紀の川市東部、大和街道沿いに位置する粉河寺。奈良時代末に開創したといわれる名刹で、西国三十三所第3番札所として、今も多くの参拝者が訪れる。本堂の前庭とその下の広場の高低差を活かして作られているのは、桃山時代に築造された枯山水の庭だ。ソテツなどの植栽を配しながら、和歌山市の青石や紫石、紀の川市の竜門石など、紀州の名石を巧み

に組み込み滝や山々に見立て、幽玄で雄大な山水画のような世界が表現されている。また、紀の川市はフルーツ王国としても有名。果樹園が手掛けるフルーツをぜいたくに使ったパフェや、変わり種のフルーツ寿司など、この町ならではのグルメがそろろう。庭園観賞を楽しむとともに、瑞々しい春の味覚を思う存分満喫しよう。

粉河寺

粉河観音宗の総本山の寺院。本堂は、8世紀(770年)の創建から焼失と再建を繰り返して、享保5年(1720)に再建されたもの。江戸時代中期の檜材による代表的な建築。西国三十三所の寺院の中で最大級とされている。

〒紀の川市粉河2787 ☎0736-73-4830 ☒8:00~17:00
料本堂内陣拝観料400円
🌐https://www.kokawadera.org/



粉河寺の桜

3月下旬から4月上旬にかけて、約300本ものソメイヨシノが見頃を迎える。桜の名所として多くの人々が訪れる。特に、中門や本堂を美しい桜が彩る景観は圧巻。



大門

和歌山県では高野山、根来寺に次ぐ威容を誇るといわれている。朱塗りが美しい巨大な楼門。宝永4年(1707)の建立で、安置されている2体の金剛力士像は、仏師の春日作とされている。



中門

江戸時代に再建された楼門。四天王像が安置されている。門にかかる扁額に書かれているのは、粉河寺の山号「風猛山(ふうもうざん)」。紀州徳川家10代藩主・治宝侯の直筆。



野荒らしの虎

第8代将軍・吉宗侯から寄進された、左甚五郎作と伝えられている彫刻。この虎が夜な夜な寺を抜け出して田畑を荒らすという伝承が残されているほど、躍動感あふれる姿は必見。本堂内陣で拝観可能。

千支御守り500円



桃源郷

3月から4月にかけて、紀の川南側に広がるピンク色の絨毯。「ひと目十萬本」の桃の花が咲き乱れ、かおり風景100選にも選ばれた名所だ。ここで栽培される「あら川の桃」は良質なブランドとして全国的に有名。

〒紀の川市桃山町段 ☎0736-66-1259(あら川の桃振興協議会)

めつけもん広場

地場野菜や果物の直売所として、旬の味覚を手ごろな価格で販売。県オリジナル品種のイチゴ「まりひめ」は濃厚な甘味と程よい酸味のバランスが絶妙で、果汁が多いことも特徴。今春からイチゴ狩りも開催している。

〒紀の川市豊田56-3 ☎0736-78-3715 ☒9:00~17:00 休第1火曜



わかやま 庭園回遊



粉河寺庭園

紀州の名石を豪快に配置した、国指定名勝の庭園。本堂へ続く石段を挟んで東西に展開しているが、西側の方が規模が大きい。春には美しく咲くサツキの花もアクセントに。



道の駅 青洲の里

世界初の全身麻酔を使った乳ガン摘出手術に成功した華岡青洲の住居兼診療所「春林軒」が再現されている。主屋と蔵は青洲が活躍した当時の建物で、内部には手術や門弟に対する講義の様子を展示している。

〒紀の川市西野山473
☎0736-75-6008
☑春林軒 / 10:00~16:30(3月~10月)
☑休火曜 ※祝日の場合は翌平日
☑大人200円、小人(中学生以下)100円



力寿し

名物・鮎寿司と、変わり種のフルーツ寿司が人気。紀の川市産の旬の果物を使った寿司は、見た目美しく爽やかなおいしさ。有名YouTuberの来店を記念して作られた「ユーチューブセット」がおすすめ。

〒紀の川市粉河10-6 ☎0736-73-6670 ☑11:00~18:00(ランチは14:00まで) 休月曜
☑ユーチューブセット(鮎寿司、フルーツ寿司、吸い物付き)1,650円



レストラン華

道の駅青洲の里内のフラワーヒルミュージアムにあるレストラン。地元で採れた野菜を中心とした30種前後の料理が並び、どれもやさしい味わい。手がゆや金山寺みそなどの郷土料理もある。

〒道の駅青洲の里内
☎0736-75-6008 ☑11:00~14:30(OS13:30) ※土日祝は15:00(OS14:00)まで 休火曜
※祝日の場合は翌平日 ☑健康おもてなしバイキング(60分)大人(中学生以上)1,500円、小学生850円、3歳以上500円、3歳未満無料



観音山フルーツパーラー総本店

県産フルーツにこだわったパフェ専門店の春メニュー。こぼれそうなほど盛られた「まりひめ」に、自家製のイチゴアイス、生クリームとイチゴで作られた紀州犬のトッピングと、味はもちろん見た目の愛らしさも人気。

〒紀の川市粉河3186-126 ☎0120-593-262
☑10:00~17:00(OS16:30)
休12月31日~1月2日
☑春イチゴと紀州犬の農園パフェ イートイン2,390円、テイクアウト2,345円



創-HAJIME-cafe(はじめかふえ)

築100年以上の文化財建造物、山崎邸がカフェに再生。地場の果物を料理に取り入れた季節限定ランチは月ごとにメニューが変わる。地元のイベント、粉河とんまが雑通りに合わせ、3月中旬まで雑ランチも提供。

〒紀の川市粉河853-3 ☎0736-60-8233
☑11:00~15:00 休日~水曜
☑季節限定ランチ1,100円





和歌山城西之丸庭園(紅葉溪庭園)

天守が建つ虎伏山(とらふすやま)の急峻な斜面を活かした池泉回遊式庭園。内堀を大きな池に見立てており、その中心には釣殿風の建物・鳶魚閣(えんぎょかく)が佇む。
 ☎9:00~17:00 園入場無料 園無休 ※12月29日~31日を除く

和歌山城天守閣

600本ものソメイヨシノが咲き誇る和歌山城。5月にはツツジが見頃に。虎伏山の頂上に位置する白亜三層の天守閣からは、市街地を見下ろす大パノラマが広がる。来城記念の「御城印」の販売もあり。

〒和歌山市一番丁3
 ☎073-422-8979
 ☎9:00~17:30(最終入場17:00)
 園無休 ※12月29日~31日を除く
 園大人410円、小人(小・中学生)200円
 御城印300円
 ①http://wakayamajo.jp/index.html



茶室 紅松庵(こうしょうあん)

紅葉溪庭園内に建築された数寄屋造りの風流な茶室で、和歌山市の名誉市民・松下幸之助が寄贈し、命名した。茶道の心得がなくても気軽に抹茶と季節の和菓子を楽しめる。

〒和歌山市一番丁3
 ☎073-431-8648
 ☎9:00~16:30(最終入室は16:00)
 園不定休、12月29日~1月3日
 園点出し(立礼式)一服470円



徳川御三家の一つ、紀州徳川家の居城であった和歌山城。西之丸庭園は初代藩主徳川頼宣侯によって造られ、今では紅葉の名所として親しまれている名勝庭園。徳川家以前の城主・浅野家の家老・上田宗箇によるものとの説もある。芽吹きの季節には青々としたもみじが生い茂り、内堀に佇む鳶魚閣は、水と緑のコントラストの中で風雅な雰囲気醸し出す。

江戸時代の風雅を味わう
 紀州徳川家ゆかりの庭園
 「和歌山市」

城を離れ海浜近く、10代藩主・治宝侯により造られたのが「養翠園」。海水を引き入れた大がかりな汐入式の池を中心に、和歌の浦の山々を借景に取り入れた大名庭園で、松の雄々しい姿に紀州の殿様の力強さを感じる。藩主たちの豊かな暮らしを想像しながら、のんびり庭園巡りを楽しみたい。

少足を延ばして



養翠園

紀州徳川家第十代藩主の徳川治宝(はるとみ)侯により造営。紀州徳川家の庭園の中でも、旧地に旧状のまま現存する大名庭園だ。千本以上の松を主体に四季折々の花木を楽しめ、春先には芝の緑が爽やかに色づく。

〒和歌山市西浜1164 ☎073-444-1430 9:00~17:00
 園無休 園入園料 大人(中学生以上)600円、小人(小学生以下)300円



和歌山城公園動物園

大正時代に開園。城の敷地内にある全国でも珍しい動物園で、ペンギンやアルパカ、紀州犬など49種の動物が飼育されている。名園園長・ツキノワグマのベニーが春先に冬眠から目覚め、姿を見せてくれる。

〒和歌山市一番丁3 ☎073-424-8635 9:00~17:00
 園無休 ※祝日の場合翌平日、繁忙期は開園する場合あり 園入園無料



わかやま歴史館

観光案内所や土産センターが入る総合ガイダンス施設。2階の歴史展示室では、和歌山城の豊富な資料が見られるほか、陸奥宗光や吉佐和子など和歌山市ゆかりの偉人たちの功績が紹介されている。

〒和歌山市一番丁3 和歌山市観光案内所 ☎073-435-1185、和歌山市観光土産センター ☎073-435-1184、9:00~18:00
 歴史展示室(和歌山城整備企画課) ☎073-435-1044 9:00~17:30(最終入館は17:00) 園無休 ※12月29日~31日を除く
 ※観光案内所・土産センターは12月29日~1月3日を除く
 園歴史展示室入館料100円 ※中学生以下は無料



忍者に変身!

時代衣装着付体験

時代劇さながらの衣装を身に付けて、城内を散策してはいかが。お殿様やお姫様、甲冑武者、腰元、行商人など多彩な衣装がそろった中、一番人気なのは忍者! 体験時間は3時間。7日前までに要予約。

〒和歌山市一番丁3 ☎073-433-8118
 (和歌山市観光協会)
 9:30~17:00(体験可能時間)
 園無休 ※12月29日~1月3日を除く
 園大人(高校生以上)1,500円、小人(中学生以下)1,000円 ※忍者と甲冑武者は当日申し込みも可能



茶室でいただく紀州徳川家献上料理

紀州徳川家入国400年を記念し、菩提寺・長保寺で発見されたレシピを元に、頼宣侯が食したとされる極上の献立を海南調理師会が現代に再現。お殿様気分です召し上がり。食事時間は12:30から15:00まで。3日前までに要予約。

〒和歌山市岡山丁岡公園 ☎073-433-8118(和歌山市観光協会) 9:00~17:00 (毎月水曜 園紀州徳川家献上料理 会席13,000円(4人からの予約)、ミニ会席7,700円(5人からの予約))

ventotto(ヴェントット)

県産ブランドのイチゴ「まりひめ」を使った、見た目愛らしいスイーツメニューがそろった。パイ生地は焼きたてにこだわり、クレープやコンフィチュールもすべて自家製。旬の果実のタルトやサンドも人気が高い。

〒和歌山市十二番丁9リヴァージュ十二番ビル1階 ☎073-488-5726 11:00~18:00(OS17:00) 園水曜、隔週の火曜 ※不足休の場合あり 園まりひめづくしのデザートプレート2,300円



十四階農園

和歌山市役所の14階にあるレストラン。和歌山城を望みながらビュッフェランチをいただける。フレッシュな野菜をふんだんに取り入れた約50種類もの料理が並び、土日祝は地ビールや梅酒、ワインも提供(別料金)。

〒和歌山市七番丁23 和歌山市役所14階 ☎073-435-1171 10:00~15:00(ランチタイム11:30~OS 13:30) ※土日祝は11:00~14:00(ランチタイム11:00~OS 13:30) 園12月29日~1月3日園ランチビュッフェ 大人(中学生以上)1,408円、小学生968円、幼児528円



総本家 駿河屋善右衛門

店の看板商品でもある「本ノ字饅頭」は、江戸時代に歴代藩主が上洛の折、道中で召し上がったの言い伝えが残る銘菓。米麹の発酵によるほんのりと優しい酒香が特徴で、トースターで焼き直してもまたおいしい。

〒和歌山市駿河町12 ☎073-431-3411 9:00~18:00 園無休
 園本ノ字饅頭162円、10個入り1,804円





蟠龍庭(ばんりゅうてい)

弘法大師御入定1150年の折に作られた石庭。龍を表す花崗岩は弘法大師が誕生したとされる四国のもの、雲海を模した白砂は京都のものが使われている。



〒伊都郡高野町高野山608 ☎0736-56-2224
<https://www.fumonin.net/>

普門院

弘法大師空海の師範・勤操大徳により創建された古刹。庭園は、江戸初期に徳川家康侯に仕えた大名で、作庭家であった小堀遠州作とされている。宿坊の特別室の窓からは、絵画のような庭園を眺めることができる。



金剛三昧院(こんごうさんまいいん)

5月初旬に満開を迎えるシャクナゲの花群は必見。2022年の土・日曜、祝日に限り国宝・多宝塔が一般公開される。4月8日(金)～5月22日(日)の「春の特別拝観」では、源頼朝と北条政子の位牌も展示。

〒伊都郡高野町高野山425 ☎0736-56-3838
 ☎8:00～17:00(最終受付16:45)
 拝観料 月～金曜300円、土日曜、祝日500円
 ※「春の特別拝観」開催期間中の平日は500円※多宝塔の御開帳なし。土日曜、祝日は800円。
<http://www.kongosanmaiin.or.jp/>



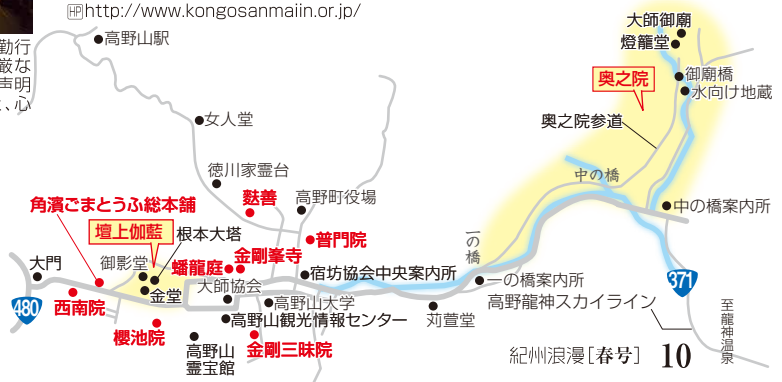
朝の勤行体験

宿泊者は6:30から朝の勤行に参加できる。早朝、荘厳な空間の中響き渡る僧侶の声明を聞いて祈りを捧げると、心身が引き締まる。

櫻池院(ようちいん)

1100年代に 白河天皇によって建てられた寺院。武田信玄ゆかりの寺でもある。門をくぐると現れる石庭は、重森三玲が龍安寺の庭に影響されて造ったとされる。春にはシャクナゲと相まって見事な風景に。

〒伊都郡高野町高野山293 ☎0736-56-2003
<https://www.yochiin.com/>





金剛峯寺

高野山真言宗の総本山。金剛峯寺の建物で最も古い、文禄2年(1593)に再建された正門では、シダレザクラが出迎えてくれる。寺院内では、大広間や持仏間、数々の美しい襖絵などが公開。
 伊都郡高野町高野山132 ☎0736-56-2011
 ☒8:30~17:00(最終受付16:30)
 拝観料大人(中学生以上)1,000円、小人(小学生)300円、未就学児無料
 ☒<https://www.koyasan.or.jp/>



壇上加藍

弘法大師が高野山を開創したとき、まず整備に着手したといわれる場所。「胎蔵曼荼羅」の世界が表現されており、奥之院と並んで信仰の中心となっている。朱塗りが美しい根本大塔は、高野山のシンボル。



奥之院

弘法大師が入定している聖地で、壇上加藍と並ぶ高野山の信仰の中心。一の橋から御廟までの道のりには、樹齢400年以上の杉木立の中に、大名の墓碑や慰霊碑の数々が建ち並ぶ。



西南院(さいなんいん)

平安初期、弘法大師の弟子・真然大徳が開いた寺院。客室の前には、昭和を代表する作庭家・重森三玲による広大な石庭が広がる。カフェを併設しており、庭園を眺めながら楽しむことができる。



伊都郡高野町高野山249 ☎0736-56-2421
 ☒カフェ10:00~17:00 ☒ブレンドコーヒー500円、さくらラテ500円
 ※ドリンクは煎餅付き(品切れの場合あり) ☒<http://sainanin.com/>

弘法大師空海が開いた真言密教の聖地・高野山。中世後期に諸国の大名と高野山の寺院が檀縁を結んだことにより、各宿坊が庭園を整え、工夫を凝らした精進料理で参詣者をもてなすようになったという。現代にもその庭園文化は受け継がれ、寺院の個性豊かな庭園の風景を眺めることが、高野参詣の楽しみの一つになっている。

寺「蟠龍庭」は、日本最大級の石庭。雌雄の龍が奥殿を守るように向かい合う様子が表現されている。三方、金剛三昧院の庭園の魅力は、晩春に咲き誇るシャクナゲ。境内いっぱい広がるピンク色の風景は、息をのむほど鮮やか。他にも、普門院、櫻池院、西南院には、著名な作庭家による美しい庭園がある。ゆったりと滞在してぜひたくに景色を堪能しよう。

千住博氏の障屏画

金剛峯寺本坊の廻廊裏の間にある壮大な障屏画「瀧図」。世界的に活躍する日本画家・千住博が、高野山開創1200年を記念して奉納。隣室の茶の間では「断崖図」を見ることができる。



麩善

創業約200年の生麩専門店。しっとりとした生麩によもぎを混ぜ、やさしい甘さのこしあんをくるんだ「笹巻あんぶ」。爽やかな笹の風味、しっとりもちもちの生地となめらかなあんが絶品。お土産にぴったり。
 伊都郡高野町高野山712 ☎0736-56-2537
 ☒9:00~17:00 毎月曜
 笹巻あんぶ 1個160円



角濱ごまとうふ総本舗

高野山の入口である大門にほど近い、ごま豆腐専門店。人気の「金剛懐石」は、金剛曼荼羅を模しており、ごま豆腐を使った多彩で美しい料理が味わえる。スイーツメニューも充実。お土産にごま豆腐を購入できる。
 伊都郡高野町高野山230 ☎0736-26-8700
 ☒9:30~17:00(食事は11:00~) 休不定休
 金剛懐石1,900円、ピスタチオごまとうふ490円

天空の聖地・高野山 参詣者をもてなす美しい庭園 【高野町】





重要伝統的建造物群保存地区、通称“伝建地区”は、格子戸や虫籠窓など、醤油醸造の伝統が感じられる情緒あふれる町並み。古くは熊野古道の宿所として、近世は陸運・海運の要衝として栄えた。

伝統と文化を守り続ける 醤油の故郷を訪ねて

【湯浅町】

日本の食卓に欠かせない調味料「醤油」発祥の地、湯浅町。醤油は、鎌倉時代、僧の覚心が中国から径山寺味噌（現在の金山寺味噌）の製法を持ち帰ったことから生まれたといわれている。金山寺味噌を造る課程で生まれる「たまり」という上澄み液が、醤油の起源だ。湯浅の清らかな水を利用して醸造される醤油は、やがて全国に広まり現在に至っている。

湯浅町の北町、鍛冶町、中町、浜町の地域一帯は、全国で初めて醤油の醸造町として選定された重要伝統的建造物群保存地区。風情ある町家や白壁の土蔵などが建ち並ぶこの地域では、今なお昔ながらの醤油造りや金山寺味噌造りが行われており、ほんのりと醤油の香りが漂う。小路小路と呼ばれる細道を散策して、かつての人々の暮らしに思いを馳せてみよう。

◆モデルコース（移動時間）

- 湯浅御坊道広川IC
- ↓（車で10分）
- 湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区
- ↓（徒歩で3分）
- 甚風呂
- ↓（徒歩ですぐ）
- 角長、職人蔵
- ↓（徒歩ですぐ）
- 太田久助吟製
- ↓（徒歩ですぐ）
- いっぶく
- ↓（徒歩ですぐ）
- 蔵野米穀店
- ↓（車で25分）
- 興国寺（由良町）
- ↓（車で16分）
- 湯浅御坊道広川IC

角長

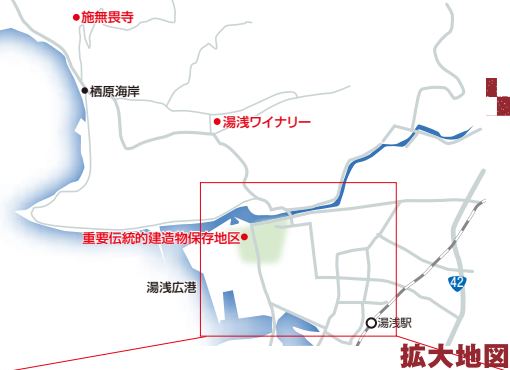
天保12年創業の醤油醸造蔵。薪で炊き上げ、手で灰汁をすくう昔ながらの製法で生み出される醤油は、コク深くまろやか。江戸時代末期から続く仕込み蔵に生きる、「蔵付き酵母」がおいしさの秘密。

面有田郡湯浅町湯浅7
☎0737-62-2035
☎9:00~17:00 休無休
囲おたのしみセット（湯浅たまり、濁り醤油各100ml）1,000円・SOY POWDER&特製ミニボトル（濁り醤油）1,500円



大人の知的好奇心を満たす
100のストーリー

わかやま歴史物語 [検索](#)



大仙掘

江戸時代に建築されたと伝わる内港で、「しょうゆ堀」とも呼ばれる。かつては醤油の原材料などが積み下ろされた。石堀の向こうに醤油蔵などが並ぶ昔ながらの風景が見られる。



せいろうミュージアム

古道具や詩歌を入れたせいろうが、伝建地区内に展示されている。伝建地区全体がミュージアムになっており、湯浅の伝統や人々の暮らしに触れることができる。



甚風呂

江戸時代から昭和まで町民に愛されてきた銭湯。現在は古民具を展示する資料館になっている。隣接する別館では、五月の節句に飾られていた「湯浅の天神飾り」と全国各地の天神人形を展示。

〒有田郡湯浅町湯浅428
☎0737-20-2033
☎9:30~16:30(平日12:00~13:00閉館)
休水曜※祝日の場合翌日
入館無料



湯浅ワイナリー

「醸造の町でオリジナルワインを造りたい」との思いから生まれたワイナリー。「TOA200」海・風・空の3種のワインを醸造。和歌山産のフルーツとワインが融合したリキュール「勾果(ほうか)」もおすすぬ。〒有田郡湯浅町榎原332 ☎0737-63-0061 ☎9:00~17:00 休土・日曜、祝日 ※土・日曜、祝日の工場見学、試飲は要予約 ①https://yuasa-winery.jp/ ②TOA200風(赤・白)720ml3,300円、勾果各375ml1,320円、勾果180ml3本セット1,980円



施無畏寺(せむいじ)

鎌倉時代の僧・明恵上人が開いた寺院。桜の名所としても有名で、坂道沿いのソメイヨシノの桜並木の風景は圧巻。山門前からは、上人が修行したとされる刈藻島が浮かぶ湯浅湾を一望できる。〒有田郡湯浅町榎原1465 ☎0737-62-2353



おみやげ処ふみよ

荒物・乾物店として昭和初期に開業し、現在は特産物や果物などが並ぶお土産店。春は甘夏やきよみなど、旬の柑橘が登場。米麴を使ったアイスは、さっぱりした甘さで食べ歩きにぴったり。〒有田郡湯浅町湯浅46 ☎0737-62-2821 ☎9:00~18:00 休無休 国産アイス300円



北町茶屋いっぶく

築150年以上の古民家をリノベーションしたカフェ。2軒隣の楠山鮮魚店で、刺身や焼き魚を購入して持ち込み、同店で「ごはんセット」をプラスしたオリジナル定食を作ることができる。〒有田郡湯浅町湯浅23 ☎0737-62-3300 ☎11:00~18:00(OS) 休月曜※祝日の場合翌平日 国ごはんセット(白ご飯、味噌汁、金山寺味噌、南高梅、香の物)550円 刺身(楠山鮮魚店で購入、写真は2人前)前価 ※楠山鮮魚店は水曜、日曜、祝日が休み



蔵野米穀店

“おけき”の屋号で町民に親しまれる米穀店。大人気の焼きもち。国産のナス、ウリ、ショウガ、シソ甘さのこしあんが入っている。などを使った味噌は、濃厚な味午前中に売り切れてしまうことも多いので、電話予約がおすすぬ。〒有田郡湯浅町湯浅44 ☎0737-62-2178 ☎9:00~19:00 休日曜 国産焼きもち1個80円

太田久助吟製

江戸時代建設の蔵で、伝統を守って造られる金山寺味噌。国産のナス、ウリ、ショウガ、シソなどを使った味噌は、濃厚な味午後にお供にはもちろん、調味料としても活躍。〒有田郡湯浅町湯浅15 ☎0737-62-2623 ☎9:00~18:00 休不定休 国産金山寺味噌(300g)690円~



興国寺

源実朝の家臣・景倫が西方寺として創建し、金山寺味噌の製法を伝えた覚心が禅宗に改めたという歴史を持つ寺。境内には火災で焼失した伽藍を、天狗が一夜で建て直したという伝説が残る天狗堂も。〒高郡由良町門前801 ☎0738-65-0154



春に彩られる二大聖地を路線バスで巡る 世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

和歌山県が世界に誇る二大聖地、高野山と熊野を結ぶ路線バス「世界遺産『高野山・熊野』聖地巡礼バス」が、4月1日(金)～5月31日(火)、9月1日(木)～11月30日(水)に運行します。乗車券提示で龍神温泉への浴割引などの特典を受けることができ、熊野三山エリアを3日間周遊できる「悠遊フリー乗車券」の購入も可能に。ルートや運賃など詳細は下記 WEB サイトで確認を。



【世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス】
 南海りんかんバス(高野山駅前～護摩壇山区间) ☎0736(56)2250
 龍神自動車(護摩壇山～本宮大社前区间) ☎0739(22)2100
 HP <https://www.wakayama-kanko.or.jp/features/seichijunreibus/>
 【悠遊フリー乗車券】
 熊野御坊南海バス ☎0735(22)5101
 HP <https://kumanogobobus.nankai-nanki.jp/>

語り部さんに導かれて古道デビューを てぶらで語りべと歩く熊野古道・なかへち

定期観光バス「てぶらで語りべと歩く熊野古道・なかへち」が、4月1日(金)から毎日運行します。コースは初心者向けの牛馬童子口～近露王子と、健脚者向けの滝尻王子～高原熊野神社の2種類。JR 紀伊田辺駅に集合し、各コース入口までバスで直行して語り部と合流。紀伊田辺駅に預けた荷物は熊野古道沿線の宿泊施設に配送されるので、身軽に熊野古道を歩けます。5日前までにバスおよび荷物配送を要予約。詳細は下記 WEB サイトで。



中辺路のシンボル、牛馬童子像

龍神自動車 ☎0739(22)2100
 HP <https://www.ryujinbus.com/tour/regular/>

車内外に歴代ネコ駅長が777点! たま電車ミュージアム号が運行中

和歌山電鐵貴志川線に新車両「たま電車ミュージアム号」が登場しました。車両デザインで著名な水戸岡鋭治氏が手掛け、歴代ネコ駅長「たま」「ニタマ」「よんたま」のイラストやオブジェが車内外にあしらわれた、まさに「走るミュージアム」です。



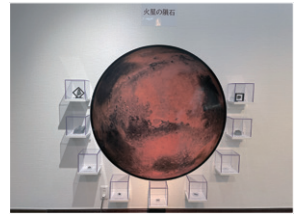
DESIGNED BY EUJI MITOOKA + DON DESIGN ASSOCIATES

また、今年1月にニタマ駅長が社長代理に就任。ニタマは2012年にたまⅡ世駅長を襲名、2021年には和歌山を全国へ発信した功績が認められ、県勲功爵の称号が贈られています。

和歌山電鐵 ☎073(478)0110
 HP <https://www.wakayama-dentetsu.co.jp/>

ロケットの町に新たな観光スポットが誕生 隕石の専門博物館がオープン

今年末に予定されているロケット初号機打ち上げが話題を呼んでいる串本町に、「串本隕石博物館」が開館しました。総収蔵点数1,000点を誇る日本最大規模の博物館で、月や火星の隕石を間近に観察できます。JR 串本駅前に位置し、開館時間は10:00～18:00で水曜休館。



また串本ロケットオリジナル商品がショッピングアプリ「Pay ID」で販売中。同アプリよりkushimotoで検索を。商品等に関する問い合わせは観光協会へ。

串本隕石博物館 ☎0735(67)7797
 串本観光協会 ☎0735(62)3171

名所やグルメなど旅の楽しみも同時に発信 WAKAYAMA800サイクリング動画が配信中



美しい海岸線や山並み、歴史スポットが点在し、バラエティー豊かなコースがそろったサイクリングロード「WAKAYAMA800」。太平洋岸自転車道がナショナルサイクルルートに指定されたことから、和歌山県観光連盟は「太平洋岸自転車道」「紀の川サイクリングロード～高野山」「箕島漁港～千葉山～あらぎ島」「熊野三山巡り」のルートの動画を制作して配信。ルートの魅力と併せて、名所やグルメ、宿泊施設などの情報も紹介しています。WEBサイト「わかやま観光」で視聴を。

和歌山県観光連盟 ☎073(422)4631
 HP <https://www.wakayama-kanko.or.jp/features/cycling/>

和歌山を満喫したい人ならどなたでも 和歌山ファンクラブ会員募集!

和歌山県観光連盟は、令和4年度和歌山ファンクラブの会員を募集中です。和歌山を満喫したい人ならどなたでも入会できます。

会員期間は2022年4月1日(金)～2023年3月31日(金)まで、途中入会も可能(ただし有効期限は3月31日まで)。会員特典は、観光情報誌「紀州浪漫」(年4回)の進呈、「和歌山ファンクラブツアー」の実施など。年会費400円。入会方法は下記まで問い合わせを。



和歌山県観光連盟 ☎073(422)4631

[和歌山県イラストマップ]



RETRIP

和歌山県の旅情報を「RETRIP」で紹介
「庭園巡り」でプチデトックス！和歌山的美景庭園とグルメ満喫の旅！
2022年3月1日公開



各市町村の観光に関する問い合わせ

和歌山市観光協会	☎073-433-8118	湯浅町観光協会	☎0737-22-3133	田辺市観光ツーリズムビューロー	☎0739-26-9025	すさみ町観光協会	☎0739-34-3200
海南市観光協会	☎073-484-3233	広川町観光協会	☎0737-63-1122	田辺観光協会	☎0739-26-9929	新宮市観光協会	☎0735-22-2840
紀美野町観光協会	☎073-489-5901	有田川町観光協会	☎0737-52-2111	龍神観光協会	☎0739-78-2222	南紀串本観光協会	☎0735-62-3171
紀の川市観光協会	☎0736-77-2511	御坊市観光協会	☎0738-23-5531	大塔観光協会	☎0739-48-0301	南紀串本観光協会(古座)	☎0735-72-0645
岩出市観光協会	☎0736-62-7101	美浜町産業建設課	☎0738-22-4123	中辺路町観光協会	☎0739-64-1470	古座川町観光協会	☎0735-70-1275
橋本市観光協会	☎0736-33-1111	日高町観光協会	☎0738-63-3806	熊野本宮観光協会	☎0735-42-0735	那智勝浦町観光案内所	☎0735-52-5311
かつらぎ町観光協会	☎0736-22-0300	由良町観光協会	☎0738-65-2522	南紀白浜観光協会	☎0739-43-3201	太地町観光協会	☎0735-59-2335
九度山町観光協会	☎0736-54-2019	日高川町観光協会	☎0738-22-2041	紀伊半島観光情報ステーション	☎0739-42-2900	北山村観光協会	☎0735-49-2324
高野町観光協会	☎0736-56-2468	印南町観光協会	☎0738-42-1737	日置川観光協会	☎0739-52-2302		
有田市観光協会	☎0737-83-1111	みなべ観光協会	☎0739-74-8787	上富田町観光協会	☎0739-47-0550		

旅館・民宿組合事務所

和歌山県旅館ホテル衛生生活同業組合	☎073-431-1366	高野山宿坊協会	☎0736-56-2616	白浜温泉旅館協同組合	☎0739-42-2215	椿温泉観光協会	☎0739-46-0321
和歌の浦観光協会	☎073-444-4349	日高町旅館民宿組合	☎0738-63-3535	白浜温泉公認民宿組合	☎0739-43-3534	すさみ町民宿組合	☎0739-55-2293
加太観光協会	☎073-459-0003	田辺市旅館業組合	☎0739-22-5544	白浜宿泊ネットサービス	☎0739-43-2706	南紀勝浦温泉旅館組合	☎0735-52-0048
紀三井寺観光協会	☎073-444-1004	龍神温泉観光宿泊案内所	☎0739-79-0339	南紀白浜しらすな会	☎0120-53-1662	那智勝浦町民宿組合	☎0735-52-2318



恋の願いが叶う!? ハート型の鮮やかな陽光桜

検索 花いちばん[紀美野町]

Photogenic WAKAYAMA [Hanaichiban]



紀美野町にある花の園「花いちばん」。桜をはじめ、約3000本もの花木が咲き乱れる園内で、近年注目を集めているのが「ハートの陽光桜」だ。2017年頃に偶然ハート型になった桜をオーナーが整えてお披露目したところ、大人気に。早咲きで、満開を迎えるのは3月下旬頃。多彩な花が満喫できる「花まつり」は例年3月中旬から4月中旬まで開催。

- ①ソメイヨシノよりも濃いピンクで、大輪の可憐な花を咲かせる陽光桜。
- ②ヤギのさくらが出迎えてくれる花いちばん。桜を中心に花木は20種以上。花まつり開催中は、それぞれの開花時期によって異なる表情を見せてくれる。

DATA

園花いちばん 和歌山県紀美野町大角486-3
 ☎090-8983-8701、073-495-3956
 ☑9:30～※開園・閉園時間は気象条件により異なる
 料大人(中学生以上)500円、小人(小学生)100円
 ※開花状況により変動あり



「#グッドトリップ和歌山」投稿キャンペーン開催中!!

Instagramに写真投稿して賞品をゲットしよう!詳しくはホームページをチェック!
<https://www.wakayama-kanko.or.jp/goodtrip/>

ちょっと寄り道 Spot!



※料理付き日帰りプラン、宿泊プランなどの詳細はホームページへ

美里の湯 かじか荘

豊かな自然の中に佇む、静謐な宿「美里の湯 かじか荘」。同宿の魅力はなんといっても、大浴場と露天風呂。四季折々の美しい景色を眺めながらゆったりと、日帰り入浴が楽しめる。

和歌山県紀美野町菅沢6 ☎073-498-0102
 ☑11:00~20:00(最終受付19:30) 休火曜
 料大人(中学生以上)600円、小人(3歳以上小学生)300円 <https://niunomiyako.com/>



トリプル(かぼちゃバナナ、山椒チョコレート、ちりめんキャベツとヘーゼルナッツ)580円※フレーバーは季節によって異なる

Kiminoka

紀美野町・宇城農園が手掛ける本格ジェラート店。季節の野菜や果物など、素材の味をそのまま活かした絶品ジェラートがそろそろ。大自然に囲まれてひんやりとしたおいしさを堪能しよう。

和歌山県紀美野町三尾川1785-3
 ☎073-495-2910 ☑10:00~17:00
 休月曜(祝日の場合営業、翌火曜休み)
<http://kiminoka.com>

和歌山県の観光についてのお問い合わせ

和歌山県観光連盟・和歌山県観光振興課・和歌山県観光交流課

TEL.073(422)4631・073(441)2775 / FAX.073(432)8313 TEL.073(441)2785 / FAX.073(427)1523

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県の観光ホームページ <https://www.wakayama-kanko.or.jp>

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp>

●わかやま紀州館

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
 TEL.03(3216)8000 / FAX.03(3216)8002

●和歌山県名古屋観光センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目16-36 久屋中日ビル4階
 TEL.052(263)7273 / FAX.052(265)0327



和歌山観光PRシンボルキャラクター わかぼん



ごみのポイ捨てはやめましょう

- ・バーベキューは指定の場所で行いましょう
- ・ごみは家に持ち帰り適切に処分しましょう
- ・ポイ捨てをなくし地球環境を守りましょう
- ※ポイ捨ては法律違反で罰せられる行為です

この情報誌は環境に配慮した紙とベジタブルインキを使用しています。